

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 6日

事業所名 山陽小野田こども発達支援センターとことこ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・利用定員数に応じた適切な設計だが、個別支援の指導訓練室の使用についても適切である。3クラスに分けて、スペースの最大限の活用をしている。
	2 職員の配置数は適切である	○		・利用定員数に適切な職員数を配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・施設内は、バリアフリー化されており、写真や絵カード等視覚支援に配慮した掲示や提示をしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・低位のパーテーション等で個別の空間を確保し、情緒の安定を図っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・クラス別の月1回の定例ケース会議にて、支援内容の評価、見直しを行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者向けの事業所評価の結果を踏まえ、保護者のニーズ等を把握、検証し業務改善に繋げている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者向けの事業所評価の結果を踏まえ、事業向け評価と併せて検証し業務改善に向けた見直しを図っている。結果については、HPで公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・一堂に会しての委員会は、コロナウイルス感染拡大予防に鑑み休止しているが、評価結果を送付し、意見を伺う方式を行っている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・定例の全体ミーティングに実施。別枠での外部研修の機会も提供している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・児発管、担当者(セラピスト含む)が、保護者のニーズを基に作成。定期のモニタリングにて加除修正をしている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・必要に応じて、発達検査等を実施している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・各項目を利用者、家族支援に必要な内容を適切に設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・ケース会議及び全体ミーティングにおいて、職員に支援内容を周知し共通理解の下で実施している。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・各クラス毎に活動内容を検討実施している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・ST,OT合同での活動や、日々活動に変化を持たせるように努めている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		・クラス毎の活動に、個別支援をST,OT(セラピスト)との打ち合わせの上組み入れている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・常勤職員(8:30)パート職員(9:00)の朝礼打ち合わせを2部制で実施し、情報共有を図っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日の終礼時に報告会を実施している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の個別の活動を記録することは定着し、ケース会議で検証し改善に繋げている。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・3か月ごとに実施している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・原則児発管と担当者で参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・子育て支援ネットワーク協議会、年中児相談会等に参加し連携に努めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・並行通園先の幼稚園、保育園と必要に応じて情報交換、共有を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・個別の教育支援計画の作成、相談会への同行等必要に応じて情報交換、共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・コロナ禍で、頻繁な行き来は控えているが、メールやリモートでの会議、研修には参画している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・コロナウイルス感染症の動向を見ながら、進めていく予定である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・施設長が、委員として委嘱され、自立支援協議会、子育て支援ネットワーク協議会等へ参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時や連絡帳で情報共有、共通理解を図っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・公認心理士が必要に応じて実施。ペアレントメンター個別相談会も実施している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に、時間をかけ丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・契約時に、時間をかけ丁寧に説明し、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・日々の連絡帳での情報提供や、モニタリング時に行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・「とこカフェ」を3回に分けて開催し、座談会形式で就学についての説明や、平素の悩みや質疑等を話す機会を設けた。今後は、少人数でのワークショップ形式での開催を考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談、申し入れがあれば、迅速かつ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月、利用者向けに「とことこだより」を発行。HPIに「とことこ通信」を掲載している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報取扱規定を策定し周知している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・子どもの特性を十分に理解し、配慮をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・今後の課題として、コロナウイルス感染状況の収束状況を見ながら考えたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各マニュアルは策定し周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・防災、避難訓練を毎月実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・必要に応じて、契約時に確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・医師の指示書に基づく対応をしている。保護者の承諾を得て医師に直接確認することもある。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・事故防止対応マニュアルに沿って、報告書が迅速に提出されるよう周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・年度当初に、虐待防止にかかる研修会を全体ミーティングに併せて開催。虐待防止権利擁護研修会に出席し、担当者による復命伝達研修会も実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束については、原則禁止を職員に周知徹底している。